

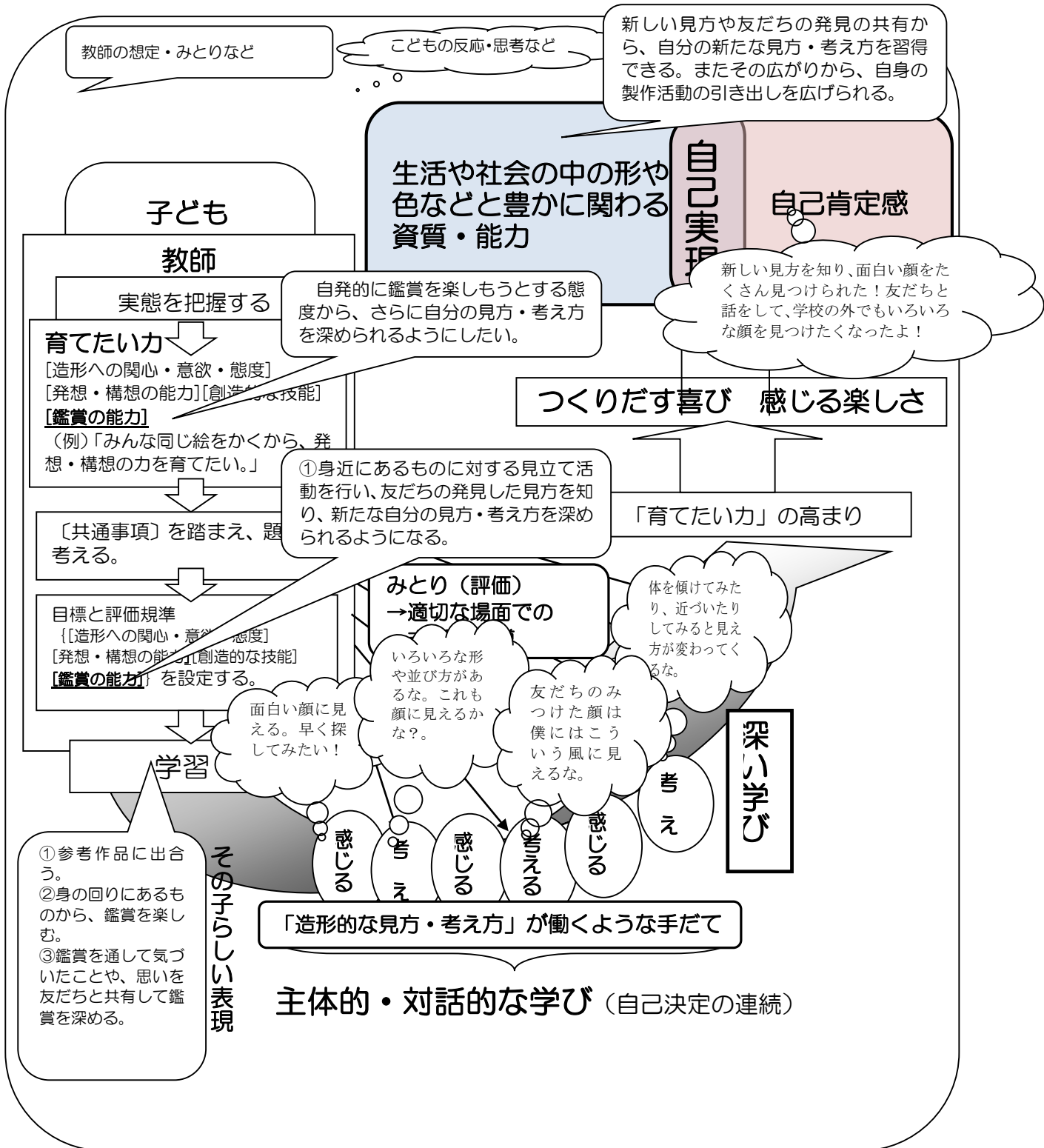
第2学年1組 図画工作科学習指導案

指導者 川崎市立上作延小学校

戸嶋 真吾

1. 題材名 「パチリ! みつけたよ!」 B鑑賞 1時間扱い

2. 「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につながる授業の構想



3. 活動場所 教室・2階廊下・1階廊下・音楽室

4. 題材観

(1) 子どもたちの実態

元気いっぱい人と関わることが大好きな児童が多くいる。自分で何かをつくり出し、人に見てもらふことを楽しみにしている児童もいる。係活動では、自らつくった絵本や物語を置いたり、天気を知らせる表示をつくったりしている。自分の作品に自信を持っている児童が多くいるが、製作途中の作品を見られるのが苦手な児童もいるが、作品が仕上がると作品について語り出すことができる。

「ふしぎなたまご」の活動の中では、自分の作品にストーリーをつけ、お話の一場面になるような絵を描いた。作品ができた後の児童同士の交流は、担任が止めるまで続く盛り上がりを見せていた。「にぎにぎねんど」の活動では、自分が生み出した面白い形についてグループの中で交流していたり、友達の説明を受けていたが、色々な角度から見ようと立ち上がって作品を見たりする児童は少なかった。

二つの活動から見えてきたことの中に、丁寧さが欠けていたり、新しい見方をしようとする児童が少ないことが見えてきた。身の回りのものを色々な角度から見て、もっとよく見えるようにするにはどうしたら良いのか考える時間が必要と考えた。

(2) 題材と育てたい力

育てたい力：鑑賞の能力

本題材では、カメラの穴から見える世界からいろいろな顔を見つけていく活動を行う。教師が見つけてきた写真を見て「面白い顔」「キョトンとした顔」「怒った顔」など題名をつけていく。今回は、改めていつも何気なく見ている身近なものに目を向けるようにしていく。身近なものに隠れている表情を見つけていく見立て活動をおこない、新しいものの見方を考えていく。自分の発見だけでなく、友だちのつけた顔にも意識を向けて共有していけたらと思う。また、友だちのつけた顔に対し、自分の考えは違う場合にも伝え合う活動になればと思う。

そして今回の経験が今後の題材で子どもたちの新しい見方につながれば良いと思う。一方向だけから見るだけでなく、多面的な見方ができるようになると、より新しい表現につながると思うからだ。

(3) 共通事項(1)

- ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。
- イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

(4) 造形的な見方・考え方が働くような手立て
 ～「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につなげるために～

• 自発的に鑑賞をしたくなるような作品との出合わせ方

今回は顔に見える写真を用意する。いろいろな表情に見えるものを準備し、題名をつけていくことで新しい顔を探しに行きたいという雰囲気をつくり、意欲を出せるようにする。また、同じものでも距離を変えたり、向きを変えたりした写真を用意しておき、いろいろな見方をして良いことを促す。また、担任が用意した写真よりも素敵な表情を見つけることを促すことでいい加減な活動になりにくくする。

• 表情を探しにいく自分専用カメラを用意

一人一人が専用のカメラを持つことで顔探しの競争意識が出てくる。また、いろいろなものをカメラを覗き込みながら探すことで自分だけが見つけた顔という特別感が生まれてくる。

• あしあとカードの活用

児童がどのアングル（向き）に顔を見出したのかが、ほかの児童にも分かるように、「あしあとカード」（指導案巻末に添付）を使用する。この鑑賞カードは、自分が顔を見つけたことをその場で他の児童に伝えられるように、床に置くことを目的とした鑑賞カードになっている。友だちが見つけた顔をあしあとカードの上に乗って探してみることで、友だちが何を見ていたのか考えるきっかけにしたい。また、自分の感覚と違う場合には、新しく題名をつけたあしあとカードを置いていくことでいろいろな友だちの考えを知ることができる。

• 顔に題名をつける

自分が見つけた顔に題名をつけることで自分の考えを表現することができる。友だちの考えを知ることでもでき、情報を共有することが容易になる。

• 顔を見つけた友だちとの対話

友だちが見つけた顔について対話をするすることで相手の考えをより深く知ることができるようになる。また自分の考えを伝えることで自分の味方に自信を持てるようになる。

(5) 題材のねらい

○身の回りにあるものに関心を持ち、形や色をとらえ、かくれている顔を探し、面白さや楽しさを感じ取っている。

5. 題材の評価規準 ～ 2つの観点から育てたい力を考える ～

造形への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
○身の回りにあるものに関心を持ち、顔のような形を見つける活動を楽しもうとしている。	○身の回りのものの形や色をとらえ、隠れている顔を見つけている。 ○自分で見つけた顔や友だちが見つけた顔の面白さや楽しさを感じ取っている。

6. 準備

- [教師] カメラカード あしあとカード
- [子ども] 筆記用具

7. 本時の活動（1／1時間 60分）

（1）本時のねらい

○身の回りにあるものに関心を持ち、形や色をとらえ、かくれている顔を探し、面白さや楽しさを感じ取っている。

（2）本時の展開

<p>◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応</p>	<p>○教師のかかわり・手だて ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て</p>	<p>評価規準【 】と評価方法（ ）</p>
<p>◇教師が撮って用意した写真を見せ、どんな顔に見えるか尋ねる。 ・笑った顔に見えるよ。 ・困った顔にも見えるね。</p>	<p>○顔に見える写真を2～3枚用意しておく。 ・写真を回して見ることで、見えかたが変わることを知らせる。</p>	
<p>かくれた『顔』を見つけに行こう。</p>		
<p>◇手作りカメラを渡し、中を覗き込むようにする。</p> <p>◇担任が用意した写真よりも、面白い顔を見つけに行こう。</p> <p>◇探しに行っている場所を伝える。 2の1教室 2階廊下 1階廊下 音楽室 ・どこにかくれているかな。 ・ろう下にもいっぱいいるよ。 ・ぼくはもう見つけたよ。</p> <p>◇さがしタイムで友だち探し。 ・「見る位置によって見えかたが違うな。」 ・「あそこのあの形が顔に見えるね。」</p> <p>◇鑑賞を通して感じたことの意見交流をする。 ・「〇〇さんのカードに乗って見る</p>	<p>◎自分専用のカメラを用意することで意欲につなげる。</p> <p>◎あしあとカードの説明をする。 ・顔を見つける。 ・あしあとカードに題名と向きを書き込み、足元に設置する。</p> <p>○活動の注意点を伝える。 ・カメラを覗き込みながら歩いているいけない。 ・高いところに上がらない。 ◎同じものでも、近づいてみたり、離れてみたりすることも促していく。</p> <p>◎友だちの設置したあしあとカードの上に乗って、友だちがどんな顔を見つけたのか探してみようことを伝える。</p> <p>◎意見交流の時間をとる。 ・友だちのあしあとカードに乗って見てどんな感じがしたのか聞く。</p>	<p>【関・意・態】 カメラの穴を覗き込み、身の回りのものから友だちを探そうとしている。 (児童の姿・発言)</p> <p>【鑑】 身の回りのものの形や色をとらえ、隠れている顔を見つけている。</p> <p>【鑑】 自分で見つけた顔や友だちが見つけた</p>

<p>と、△△な顔が見つけれられたよ。」</p> <ul style="list-style-type: none"> • ○○さんは「△△な顔」って言う ていたけど私には◇◇な顔に見 えたよ。 • 見てみたいなあ。 <p>◇近くの、友だちの足跡カードに乗 って見てみよう。</p> <p>◇感想をもう一度共有しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の感覚と違った場合には、伝 えるよう促す。 <p>◎顔が見つけれられない場合は近く の友だちと協力して見つけてみ る。</p> <p>◎意見交流の時間をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 改めて、友だちのあしあとカード に乗ってみてどんな感じがした のか聞く。 	<p>顔の面白さや楽しさ を感じ取っている。 (発言・鑑賞カード)</p> <p>【鑑】 自分で見つけた顔 や友だちが見つけた 顔の面白さや楽しさ を感じ取っている。 (発言・鑑賞カード)</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

8. 「造形的な見方・考え方」が働くような手立て

「造形的な見方・考え方」が働くような手だて

1. 「造形的な見方・考え方」を働かせながら、主題・材料・技法と関わることができるようにするために・・・
2. 「造形的な見方・考え方」を働かせながら、作品をつくったりみたりできるようにするために・・・
3. 「造形的な見方・考え方」を身につけ、生活に活かせるようにするために・・・

